

# 横展開の加速化等による デジタル実装の更なる推進に向けて

2023年（令和5年）6月2日

第13回デジタル田園都市国家構想実現会議

## デジタル庁

# 自治体窓口DX（書かないワンストップ窓口）の横展開

## 書かないワンストップ窓口の横展開

デジ田交付金の活用とも併せて、以下の取組により全国での横展開を後押しする。

①自治体が窓口DXに取り組みやすくなる環境として、ガバメントクラウド上で窓口DXSaaSを提供する  
⇒ 令和5年7月下旬からのラインナップ公開に向けて、事業者の公募を実施中（2023年5月中）

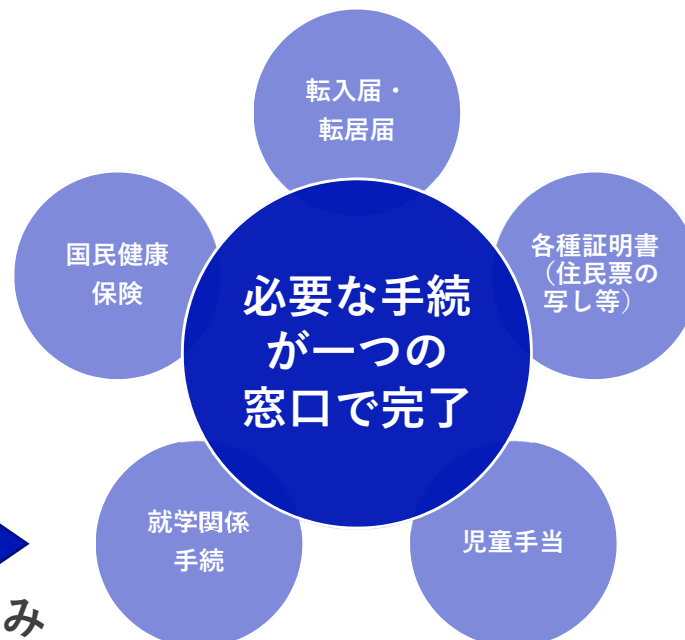
②窓口DXSaaS導入の前準備として、自治体の窓口BPRをサポートする窓口BPRアドバイザーを派遣

## 書かないワンストップ窓口の概要

- 申請・届出書の作成にデータを活用。本人の確認を経て、複数窓口で連携…**必要な手続きが一つの窓口で完了**
- 申請・届出書の住所等は、マイナンバーカード等の情報を基に自動入力…**住民は署名のみ**



マイナンバーカード等を  
読み込み、自動入力

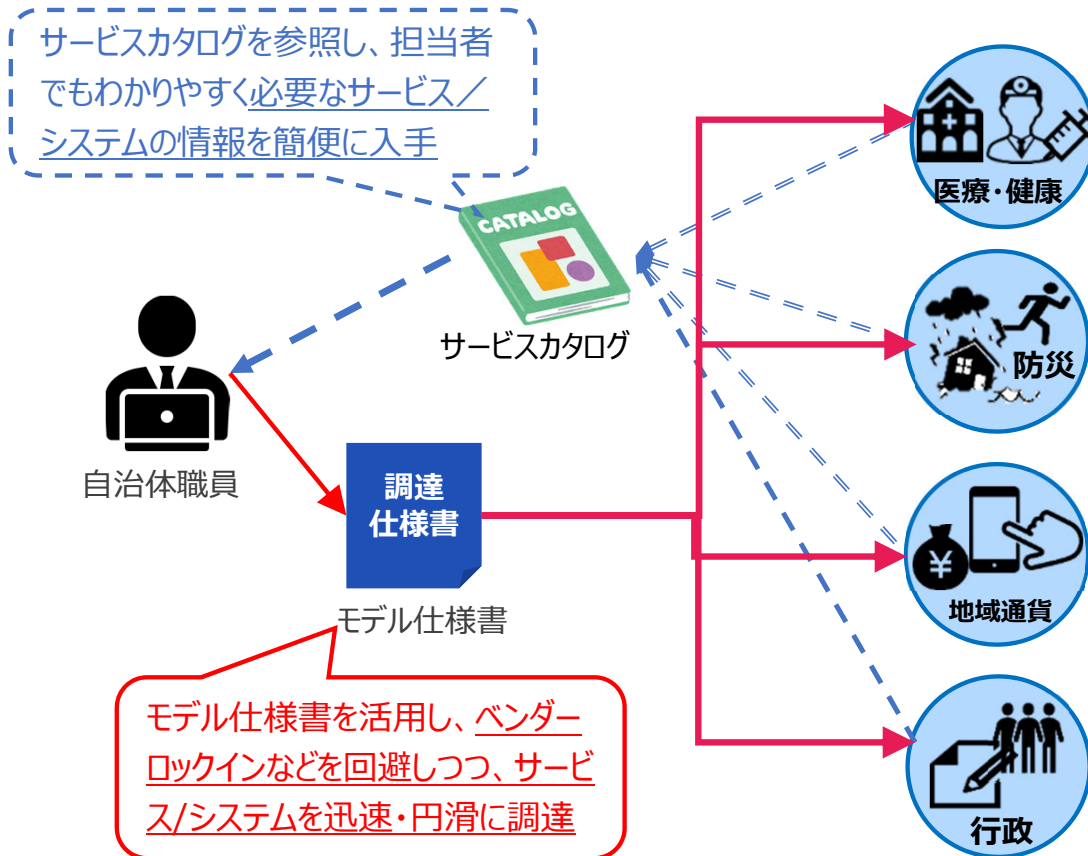


※上記は一例。対象となる手続きは、自治体によって異なる

# マイナンバーカードを活用した優れたサービス/システムの横展開加速

■ デジ田交付金により、新たに561のマイナンバーカード利用サービスがスタート。  
 今後デジタル庁は、優良事例を支えるサービス/システムの横展開を加速するため、関係省庁と連携し以下に取り組む。

- ① 主要分野の優良事例を支えるサービス/システムをカタログ化（2023年夏に第1版を公表）
- ② カタログ掲載されるような優れたサービス/システムを調達するため、どのように仕様書上の要件や機能を整理すればよいのかを、自治体担当者向けにガイダンスしたモデル仕様書を作成（2023年末を目途に公表）  
 ※ 併せて、汎用性が高い部分については、廉価に提供されることを条件に、国がその開発を支援することも検討する。
- ③ 併せて、カタログに載るような優れたサービス/システムの調達を行う地域に対する支援策を検討



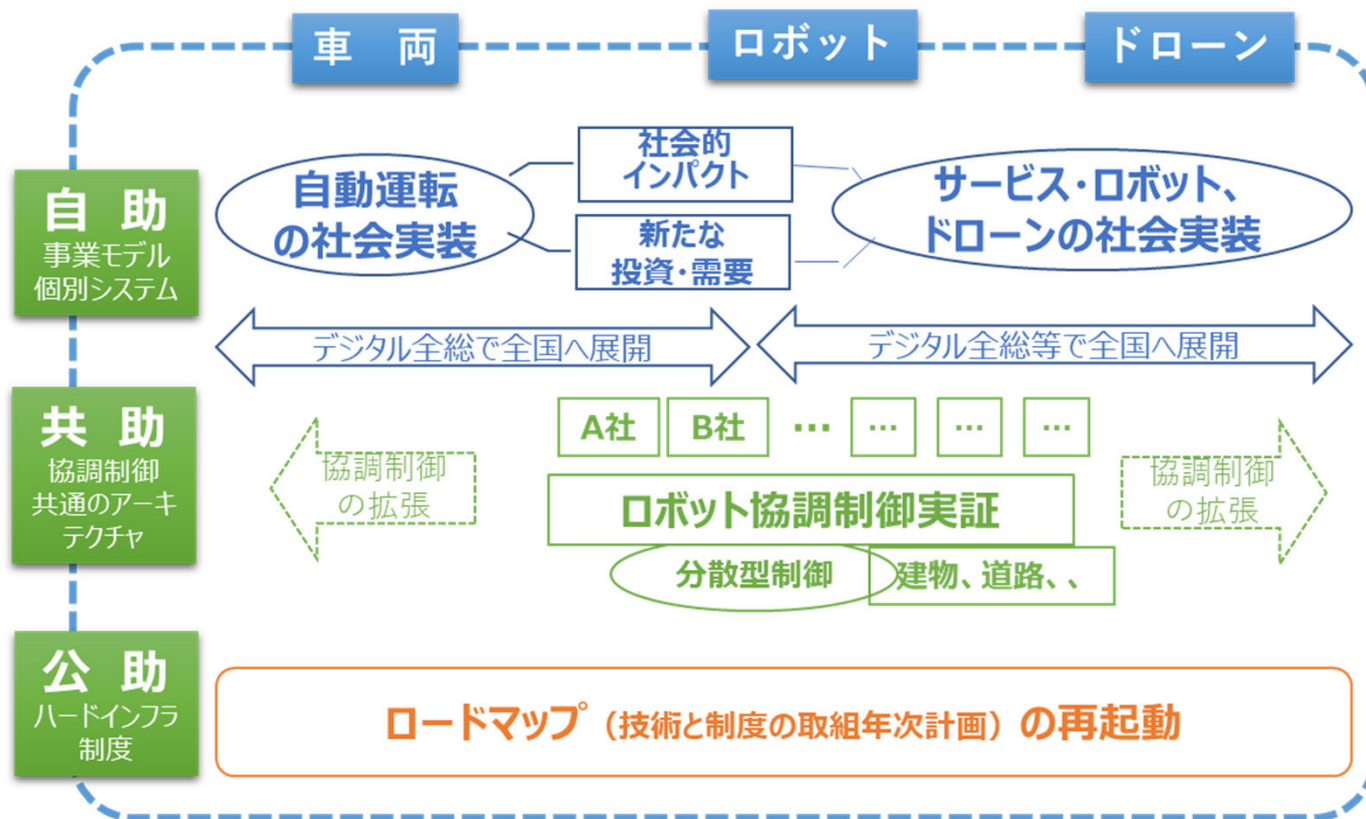
マイナンバーカード利用サービスカタログの主要分野

<b>窓口DX</b> ・書かない窓口	<b>行かない窓口・電子申請</b> ・移動市役所 ・電子申請	<b>コンビニ交付</b> ・コンビニ交付	<b>医療・健康・子育て</b> ・母子健康手帳アプリ ・予防接種券アプリ ・医療費助成受給者証
<b>市民ポータル</b> ・市民ポータル	<b>地域通貨・ポイント</b> ・地域通貨 ・地域クーポン ・健康ポイント	<b>図書館</b> ・図書館カード ・スマート図書館（オンライン貸出）	<b>公共交通</b> ・乗車券 ・オンデマンド予約 ・高齢者割引
<b>施設利活用</b> ・施設予約 ・スマートロック ・施設チェックイン	<b>防災・避難所</b> ・避難所受付 ・避難誘導	<b>選挙・投票所受付</b> ・投票所受付 ・不在者投票申請 ・期日前投票の宣誓書出力	<b>その他</b> ・ボランティア登録

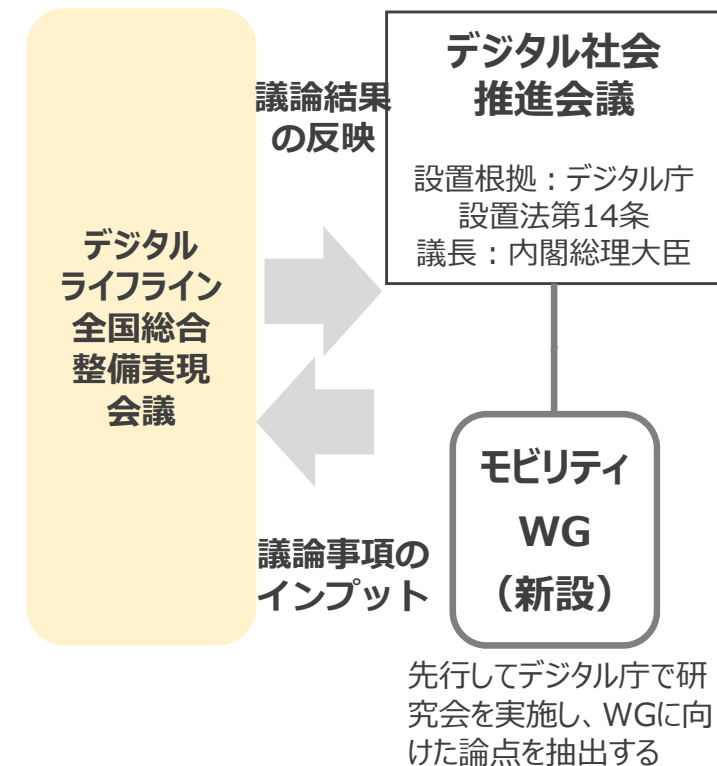
# デジタルライフライン全国総合整備計画の実現に向けて

- 自動運転車両、ロボット、ドローンをトータルにモビリティとして捉え、移動需要に対する新たなモビリティ政策を検討していくことが必要。
- 自動走行等の全国展開に当たっては、単なる実証ではなく社会実装につながるよう、個別事業の持続可能性を担保するための要件（社会的インパクトや、新たな需要・投資の明確化、必要なKPI）を明確化することが必要。
- デジタル社会推進会議の下に**モビリティワーキンググループ**を設置し、デジタルライフライン全国総合整備実現会議と連携して、2023年度（令和5年度）中を目途に「モビリティ・ロードマップ（仮称）」を取りまとめる。

## ■ 各省横断的なモビリティ政策のフィールド



## ■ 検討体制



# デジタル推進委員の取組状況

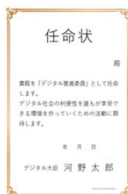
- 「誰一人取り残されないデジタル社会の実現」に向け、デジタル機器やサービスに不慣れな方にきめ細やかなサポートを行う方々をデジタル推進委員として任命。**現在、26,000人を超える方々を任命。**
- 2023年4月のG7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の開催に合わせ、JR東日本の社員の方々がデジタル推進委員に登録（現在1,395人）。高崎駅、東京駅・八王子駅等の**駅や、観光情報発信拠点においてデジタル推進委員が活動する「デジタルよろず相談所」を開設。**

## デジタル推進委員の募集対象

地方自治体、経済関連団体、ボランティア団体等の取組において、高齢者・障害者等の方々に対し、

- マイナンバーカード・マイナポータルの利用方法
- 各地で実装されているデジタルサービスの利用方法
- デジタル機器・サービスの利用方法

に関する内容についてサポートする方。



## 企業との連携事例

### ● 「デジタルよろず相談所」の開設 <JR東日本>

駅のコンコースや、観光情報発信拠点「駅たびコンシェルジュ」等に開設した相談所で、マイナンバーカードやマイナポータルの利用方法について案内を行う。

<開設場所（予定含む）> 48カ所

- 駅：秋田駅・仙台駅・東京駅・八王子駅・大宮駅等の27駅
- 「駅たびコンシェルジュ」：盛岡・上野・川崎等の21カ所

